

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	皆見 隆明	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9010		事務事業名称		医療費適正化特別対策事業					短縮コード		経常		臨時	9010	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	01	総務費		項	04	特別対策事業費		目	01	医療費適正化特別対策事業費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		国民健康保険法									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
診療報酬明細書（レセプト）の点検，ジェネリック医薬品普及啓発等により，医療費の適正化を図る。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして								
今後の財政運営にも大きく影響する保健事業をどう取り入れていくかが課題である。ジェネリック医薬品については，国等においても普及促進に向けた取り組みが行われていることに加え，大手製薬会社の参入などもあり，普及が進んでいる。						大項目（節）	03	社会保障								
						中 項 目	01	国民健康保険								
						小項目（施策）	01	財政運営の健全化								
						細 項 目	02	医療費（給付）の適正化								
					実施計画の計画事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	被保険者，医療機関及び千葉県国民健康保険団体連合会を通じ，八千代市に請求された診療報酬明細書（レセプト）										
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 保険者レセプト管理システム（電子レセプト）を使用したレセプト点検員による診療報酬明細書の内容点検及び市職員による資格点検等を実施した。ジェネリック医薬品の普及促進を図るため，「ジェネリック医薬品希望カード」を作成し，窓口配布した。 医療費通知の送付。第三者行為損害賠償の求償事務。										
	※平成23年度に計画していること： 保険者レセプト照会システム（電子レセプト）を使用したレセプト点検員による診療報酬明細書の内容点検及び市職員による資格点検等を実施する。ジェネリック医薬品の普及促進を図るため，「ジェネリック医薬品希望カード」を平成23年度更新の被保険者証に同封する国保パンフレットに添付する。 医療費通知の送付。第三者行為損害賠償の求償事務。										
意図 （何を狙っているのか）	診療報酬明細書（レセプト）の点検を行うとともに，医療費通知やジェネリック医薬品普及啓発により，医療費の適正化を図る。										
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外										
区 分			単位	2 1 年度		2 2 年度		2 3 年度			
				実績		計画		実績		計画	
対象指標	指標 1	診療報酬明細書（レセプト）	枚	762, 298		805, 121		794, 318		808, 868	
	指標 2										
	指標 3										
活動指標	指標 1	診療報酬明細書（レセプト）の点検数	枚	762, 298		805, 121		794, 318		808, 868	
	指標 2										
	指標 3										
成果指標	指標 1	被保険者 1 人あたりの財政効果	円	2, 235		2, 235		2, 393		2, 395	
	指標 2										
	指標 3										
上位成果指標	指標 1										
	指標 2										
	指標 3										

コード	9010	事務事業名称	医療費適正化特別対策事業				所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			医療費の適正化に係る事務については、今後も継続してより効果的・効率的に実施することを検討していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			医療費の適正化に係る事務については、今後も継続してより効果的・効率的に実施することを検討していく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
医療費の抑制になり，患者の負担軽減にもなるため，ジェネリック医薬品の普及啓発に力を入れてほしい。									

所属長コメント	平成２３年度９月に稼働を予定している国保総合システムにより，継続してレセプトの点検事務を行うとともに，ジェネリック医薬品の普及啓発を通じた医療費の抑制を図るなど，医療費の適正化に努める。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									